

2018
4月号

原水協通信

国連NGO原水爆禁止日本協議会

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-2-4



原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書

国際法史上初めて核兵器を違法なものとした核兵器禁止条約が、2017年7月7日の国連会議で国連加盟国の約3分の2にあたる122万国の賛成で採択されました。

核兵器禁止条約は第1条において、核兵器の「開発、実験、生産、製造」及び「保有、貯蔵」、さらにその「使用」と「使用の威嚇」を禁止し、条約締結国に対し「自国の領域または自国の管轄もしくは管理のもとにあるいかなる場所においても、核兵器または核爆発装置を配置し、設置し、または配備すること」を禁止しています。9月20日にはニューヨークの国連本部で署名式典が開かれ、賛同する国々による署名と批准の手続きが始まりました。

この歴史的な核兵器禁止条約採択への貢献が評価され、12月10日には2017年のノーベル平和賞が国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)に授与されました。

平和首長会議は2017年8月の第9回総会で、「人類の悲願である核兵器廃絶への大きな一歩となる『核兵器禁止条約』の採択を心から歓迎する」、「核兵器保有国を含むすべての国に対し、条約への加盟を要請し、条約の1日も早い発効を求める」とする「核兵器禁止条約の早期発効を求める特別決議」を可決しました。

昭和59年に非核平和都市を宣言し非核と世界の恒久平和を望む高石市の市議会としても、市民の生活の安全と安心を守る立場から、以前から核兵器の廃絶を強く訴えてきたところであり、核兵器のない世界を望む国内外の広範な世論に添えて、唯一の戦争被爆国である日本は率先して取り組むことを強く求めるものであります。

1. 日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に調印することを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年3月 日

高石市議会

核兵器禁止条約

高石市議会が全会一致

で意見書採択

さる3月8日、高石市議会は全会一致で「核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書」を採択しました。これは、新婦人が高石市議会に要請した結果です。内容においても、禁止条約の第1条を引用し、昨年のICANがノ

ーベル平和賞を授与したこともふれています。また、平和首長会議の特別決議や高石市の非核平和都市宣言に即したことを述べています。大阪府下のすべての自治体は非核平和都市宣言をあげており、また平和首長会議に加盟しています。高石市の意見書採択がその先鞭をきりました。今後大阪府下のすべての自治体で日本政府にその国民的責務をはたすように求めていく動きが求められます。

国民の核兵器廃絶の願いへの背信行為

(朝日新聞スクープ)

日本政府がオバマ政権に要請していた「削減は逆効果」

4月1日付の朝日新聞の報道によると09年オバマ政権発足当初から「核兵器なき世界」を掲げる米国に核兵器は必要だと要請していたことが、米NGO「憂慮する科学者同盟」の取材から明らかにしました。

核兵器のない世界を望む国内外の広範な世論に添えて
唯一の戦争被爆国として日本政府は率先して調印を



ガンバッテいますレポート

～おおさかパルコース～

被爆者の呼びかけに添えて、市民団体の一つ生活協同組合おおさかパルコースでは「ヒバクシャ国際署名」を積極的にとりくまれています。左の写真は生協事務室に集められた署名用紙のタワーです。岩田大阪原水協理事長が、協力要請に訪問した際、紹介されたものです。



署名の結集は3万5947筆です。大阪の結集数の一割に到達しています。他の大阪いずみ市民生協やよどがわ市民生協もとりくまれています。

ヒバクシャ国際署名 (3月31日現在)

33万5481筆



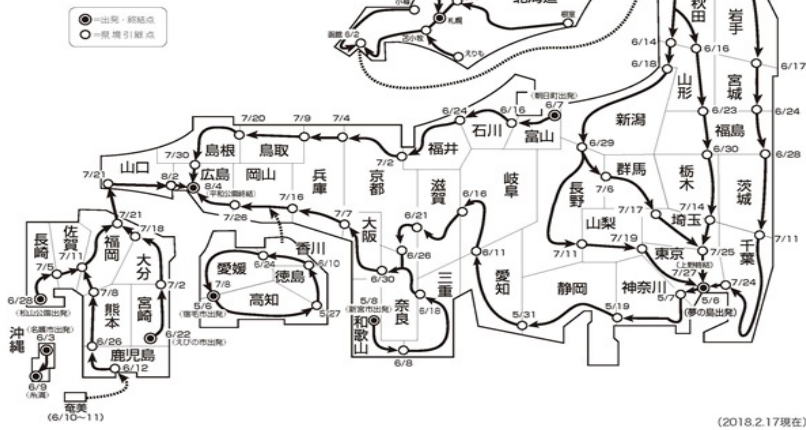


「2018年原水爆禁止国民平和大行進」 大阪実行委員会発足

3月8日
今年度の
国民平和
大行進の
大阪実行
委員会が
発足しま
した。19
58年6月
の第1回
の平和大
行進が始
まる。ま
来、6月
年目を迎
えます。

2018年 国民平和行進

日程・コース



府内通し行進者募集

*募集期間
4月2日～6月1日

*大阪原水協に問い合
わせください
☎06-6765-2552
E-mail:osk-gensuik
yo@piano.ocn.ne.jp

- 代表委員 川辺和宏
- 代表委員 大阪労連議長 杉本和
- 代表委員 新婦人府本部会長 岩田幸雄
- 代表委員 大阪原水協理事長 山崎義郷
- 代表委員 事務局長 原水協常任理事 山本匡
- 代表委員 会計監査 平和のための税理士たち事務局

- 【メインスローガン】
- ◇核兵器で日本とアジアの安全は守れない。核兵器禁止条約への参加を日本政府に迫ろう！
 - ◇「ヒバクシャ国際署名」を集めよう！核兵器禁止条約を発効させよう！
 - ◇沖縄への新基地建設・オスプレイ NO！核も基地もない平和の日本をつくろう！
 - ◇戦争する国づくりは許さない。「戦争法」廃止！憲法9条を守りかそ！
 - ◇軍事費を削り医療・福祉・教育などの予算増を政府に迫ろう。貧困をなくそう！
 - ◇ノーモア・フクシマ！原発ゼロ！政府・東電に原発事故被災者への全面補償を迫ろう！放射線被害の根絶、被災者を支援しよう！再生可能エネルギーに舵を切ろう！
 - ◇原水爆禁止2018世界大会に集まろう！
 - ◇核兵器のない平和で公正な世界をめざす原水爆禁止2018世界大会—広島、長崎に集まろう！
 - ◇ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ビキニ、ノーモア・ヒバクシャ！核兵器をなくそ！
- ※大阪独自のスローガンは5月号に掲載します

大阪実行委員会の構成は以下の通りです。

3月24日、26日の3日間、野のちから」にて原爆写真展が開催されました。

岩田幸雄理事長が開会のあいさつで、核兵器禁止条約の意義をわかりやすく解説し、「ヒバクシャ国際署名」の協力を訴えました。また、東田協直常任理事も原爆パネルの説明員として活躍しました。堺原爆被害者の会の中谷好文会長の被爆体験のお話などが、3日間延べ200名の方々が、「見て」「聞いて」そして平和の大切さ、原爆の非人道

原爆写真展

3月25日 第3種郵便番号 S5TK

2018年3月25日 第3種郵便番号

東田さん 大阪原水協協議会

1月に大阪原水協、堺原水協と竹山修身市長との初めての懇談が行われました。原水協側から核廃絶の先頭に立つよう日本政府への働きかけやアピール署名の協力などが要請されました。竹山市長からは、「核兵器のない世界を実現するために、堺市もみなさんと一緒に連携しながらやっていきたい」と語りました。

核兵器禁止条約が国連加盟国の約3分の2に当たる122か国の賛成で採択されました。核兵器は違法となり、「開発、実験、生産、製造、取得、所有、貯蔵」が禁止されるとともに、「使用と使用の威嚇」も禁止されます。しかし、恥ずかしいことに日本政府は、アメリカの核の傘に依存し、核抑止力論の立場から、2回にわたる核兵器禁止条約会議をボイコットしてきました。2回にわたる核兵器禁止条約会議をボイコットしてきただけでなく、1日も早い日本政府の賛成、批准を強く求め、日本政府の態度を変えさせるためにも「ヒバクシャ国際署名」を更に広げ、世論で包囲することが重要です。

岩田 幸雄さん

今だからこそ、被爆の実相を知ろう！学びましょう！

…堺野のちから 原爆写真展 in やさしい風…

性を「感じました。感想文に、写真は、真実を写したの世間は、とても思えない、ごみで埋まるといって、ろくでもない。2度とな

核兵器で平和は守れるか？

ノーベル平和賞受賞 ICAN 川崎哲さん語る

今年核兵器禁止条約の発効が期待されています。一方で、トランプ政権は「核態勢の見直し」を発表して禁止条約を真っ向から否定し、その先制使用すら打ち出しています。更に日本政府も、この方針を高く評価するとしています。

だからこそ「ヒバクシャ国際署名」を広げ、あらゆる遠いを超えて核兵器廃絶を求め、草の根の力で政治を動かす時です。

昨年12月被爆者のよびかけに賛同した多くの団体・個人で発足した「ヒバクシャ国際署名推進・大阪の会」の取組みにぜひご参加ください

2018年4月16日(月) 18:30～
エルおおさか 南館ホール (地下鉄谷町線 天満橋駅 徒歩5分)
資料代 500円

主催:ヒバクシャ国際署名推進・大阪の会

問い合わせ 平542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル210号室 大阪原水協 TEL:06-6765-2552 / FAX:06-6765-2837 E-mail:osk-zensuikvo@piano.ocn.ne.jp

川崎哲(かわさきあきら)さん
ピースボート共同代表。核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)国際運営委員。2008年から広島・長崎の被爆者と世界を回る「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」プロジェクトを実施。2009～10年、日豪両政府主導の「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会」でNGOアドバイザーを務めた。

「仕事を願います」
「被爆者の方があんなに苦しい思いをしないで、未来に核をなくしたい」と、運動されたために、私たちが下りることが、本来にありたい結果を必ず！

【4月・5月のとりくみ案内】

- ※4月17日 6:30～国労会館「NER講演会 地域発エネルギー自治の先見性」(諸富徹京大大学院教授)
- ※4月18日 6:30～エルおおさか「九条の会おおさか」連続学習会『憲法9条こそ平和を創る力』(川田忠明さん)
- ※4月30日 1:20～たかつガーデン「平和憲法を守る力、3000万署名の達成めざして」(畑田重夫さん)
- ※5月3日 13:30～扇町公園「安倍9条改憲許さない5・3おおさか総がかり集会」(香山リカさん)